

単元名 きせつの言葉2

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
 (2) 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。
 (3) 語句の量を増やし、季節らしさを表現した文章を書こうとする。

標準的な展開例

03010119_001

【教材名】夏のくらし (上 P. 98～P. 99)

【準備等】国語辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 生活の中で、夏らしさを感じる言葉を探す。 ★「夏」を感じる言葉を集めよう。 ○「はなび」を朗読し、感じたことを話し合う。 ○校庭や地域に出て、生活の中で夏を感じるものを探す。</p> <p>○教科書の言葉から知っているものを発表したり、連想するものを出し合ったりする。</p> <p>2 夏を感じたものについて文章を書く。 ★夏を感じたものについて書こう。 ○身の回りで見付けた夏を感じたものについて、文章を書く。</p> <p>○書いた文章を交流する。</p>	<p>・教科書の絵から想像するだけでなく、実際に目で見たり肌で感じたりするなどして、五感を働かせて夏を感じさせる。 【評】夏を感じるものを探す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】夏に関する言葉を発表したり、連想したりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・前時の内容を想起したり、教科書(P. 99)を参考にしたりして書かせる。 【評】夏を感じたものについて書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】